

讀者の領分

注

長文及び水彩畫は無關係のものに御座る。
◎印は編者の答、投者の要點のみを掲ぐ。

■とある森の茂みて寫生をしてゐたら、傍の小川に小供が釣をしてゐたが、忽ち盆を覆すやうな雨に驚いて、狼狽したその姿はよいボンチであつた(鹿兒島、畫甫)■うつくしきおのづからなる姫神のみ下にたかき秋を證せん(晩韻生)■月刊スケッチといふ雑誌は近いうちに二度迄も體裁を更へた、あれでは他日日本の時困るから、みづゑはそのやうなとないやうに希望する(愛讀者)◎みづゑの體裁は此儘でやるつもりです■始めて寫生に出た時は人に見られるのが耻かしいやうで、穴でもあつたら這入りたかつた(孤崖生)■1 文部省中等教員圖畫試驗案内を御掲載下されたし。2 圖案畫法を御掲載あらんとを乞ふ。3 人物描法を示されたし(肖像畫位ひにても)4 審美學の初步を講ぜられたし。5 地方に在て肉筆の參考畫を見る事を得るの便宜を開かれたし(地方獨習者の大必要)の繪葉書よりも畫面の大なる普通の水彩畫稿を募集せられたし

(垂虹生)◎1、2、3、4 は道々御望に應ずべし。5 はよき方法あらば御示下さい。地方によつては隨分不信用な方がありますから、制限なしに繪を御貸申ことは出来ません。6 計畫中■1 繪葉書競技會を毎月二三回以上開かれたし。2 同時に畫學紙ハツ切位ひの水彩畫交換も願ひたい。3 みづゑ紙上にハガキ集といふやうなものを設けて交換の繪ハガキ評をしたら利益が多いとせう。諸君御賛成を(お茶の子)◎1 毎月一回でさい中々忙しいのですから當分御望に應じかれます。2 計畫中3 本號から實行しましたからドシ／＼御投書を願ひます。■白馬會は新作がいつもよりは少なく殊に水彩畫は振はない(黒式部)■私が水彩畫を始め出したのは忘れもしない二年前の秋で、青梅の珠郎氏に勧められて上手下手は自分の腕次第と奮發をやつて見たが、幾度となく失敗して終には失望のあまり筆を捨てた事もあつた(珠翠生)■一尺五寸の畫板を携へて此夏旅行したが、汽車の改札口を通る時間へて大閉口であつた。吾々初學者には、普通石版三枚續き位のものに洋紙を貼

つて用ふるのが一番便利だと思ふ(越後靜遠)■白馬會で小林萬吾氏の油繪を、硝子がかゝつてゐるから水繪と間違へて友人に笑はれた(うっかり坊)■1 みづゑの四號は印刷も製本も駄目だ。2 每號鉛筆畫の講話を出して下さい。3 來春の初刷には美術雜誌の模範となるやうなものを、出して下さい(長野QQ生)◎1 別に前々より劣つてゐると思へませんが、多くの中には不出來のもありましたらう、爾來注意致します。2 只今さる人に依囑中。3 御承知の通り消樂雜誌ですから、びまと金のある時のほかは、たとへ新年でも特別の設備は出来ませんが、何か御年玉位いはつけます。■みづゑ愛讀者の大寫生會を催しては如何(牛込橫好生)◎いつか實行いたしませう。

近事雜聞

△太平洋畫會の新研究所は最早落成に近づきしを以てこの天長節の佳辰を期して盛んなる開所式を擧げ會に關係ある人士を招待する筈にて當日は餘興として即興詩人其他二三の素人演劇もあるよし
△學習院輔仁會にては去月十八日大會を開き別々に櫻虹會々員の作る水彩油繪九